

第3回

「銅のすごい力を調べてみよう！」
夏休み自由研究コンテスト」開催



各賞の授賞式。TKP 秋葉原カンファレンスセンターにて

第3回 夏休み自由研究コンテスト

日本銅センターは、全国の小学4〜6年生および中学1〜3年生を対象に、「第3回 銅のすごい力を調べてみよう！」夏休み自由研究コンテスト」を開催した。銅の性能を探求し、若い世代の自然科学・銅への関心を高める教育支援を目的に、「銅の主なる5つの特徴（熱伝導・超抗菌・加工性・導電性・リサイクル性）」をヒントに銅全般に関する自由研究を、夏休み期間を含む約3か月間募集した。応募作品は3名の審査員が評価し、厳正な審査の結果、最優秀賞2作品、優秀賞7作品、審査員特別賞3作品、団体賞1作品の計13作品を選出し、11月17日に結果を発表した。

最優秀賞は、小学生の部・園島里佳さん（大阪府）「銅が水の腐敗と小松菜の成長に与える影響」、中学生の部・柴田千歳さん（静岡県）「ひずむと熱が発生する〜銅で探る金属の不思議〜」が受賞した。団体賞では昆虫体内の銅の動きを検証する研究「昆虫体内の銅の抗菌・防カビパワーを検証する」が選ばれた。11月29日にTKP秋葉原カンファレンスセンターにおいて表彰式が執り行われた。表彰式には受賞した小・中学生が全国から集まり、表彰状は日本銅センター専務理事の桑山広司氏、日本鋳業協会理

事の大川広三氏より授与された。表彰式の後には、各受賞者から自身の研究の発表が行われた。小学生、中学生の皆さんはこの日の為に準備をして、しっかりと発表。保護者の方からは、研究発表について「貴重な経験をされた」「たくさん練習していた」などの感想をいただいた。日本銅センターからは、それぞれの研究に対するコメントが贈られた。最後に群馬大学大学院理工学府教授・副学長 板橋英之氏が特別講演を行った。板橋氏は間伐材のチップに銅イオンなどを吸着させ、セメントに混ぜた「ウッドチップブロック」の開発を紹介。また、受賞者に向けて、「AIにできないことをする為に、知識や技術を身につけ、将来ワクワクするための道具を手に入れよう。」とコメント。会場は学びと発見に満ちた時間となった。



最優秀賞 小学生

園島 里佳 大阪府

「銅が水の腐敗と小松菜の成長に与える影響」

受賞のコメント

昨年の取り組みを応用して、植物を育ててみました。二年連続で受賞できて、驚きと嬉しさでいっぱいです。来年も工夫しながら挑戦していきたいです。



最優秀賞 中学生

柴田 千歳 静岡県

「ひずむと熱が発生する？〜銅で探る金属の不思議〜」

受賞のコメント

ひずむと熱が出る現象を銅で確かめ、ほかの金属とも比べました。最優秀賞をいただけて嬉しいです。今後は条件をそろえて、研究をさらに発展させたいです。



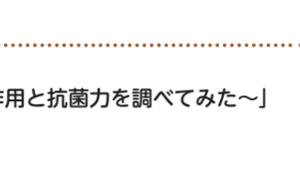
優秀賞 中学生

- 堀内 俊治 (千葉県) 「銅の殺菌効果の研究2ー予防策としての観点からー」
- 高井 真帆 (愛知県) 「古代の鏡、青銅鏡を作ろうー家庭で作る青銅器ー」
- 上野 葉太 (東京都) 「電導界の殿堂入り！？〜銅の導電性に関する実験〜」



優秀賞 小学生

- 神谷 すみれ (愛知県) 「災害時に役立てる！？熱伝導対決実験！」
- 村上 博亮 (京都府) 「貝は銅に触れるとどのような反応をするだろうか？」
- 浅野 ふみ香 (愛知県) 「銅をきれいにする研究」
- 園島 泉美 (大阪府) 「べっこうあめ作り 銅なべ vs ステンレス鍋」



審査員特別賞

- 群馬大学理工学府選出 細見 仁一郎 (京都府) 「銅はサビでも強かった！？〜緑青の防腐作用と抗菌力を調べてみた〜」
- 日本鋳業協会選出 井之上 理紗 (兵庫県) 「銅がないとエアコンが使えない？」
- 日本伸銅協会 (古河電気工業) 選出 北野 瑞葵 (和歌山県) 「銅なる？みかん」

団体賞 小学生

- 大久保 奈月 (東京都) 大久保 由良 (東京都) 「昆虫体内の銅の抗菌・防カビパワーを検証する」